

福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	コミュニケーション論Ⅰ	
科目基礎情報							
科目番号	0071			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配布資料、授業中に指示する						
担当教員	松江 俊一						
到達目標							
①分量の多い新聞・雑誌・講話等の情報を図表を用いて要約できる。 ②決められた制限時間の中で意味の含有率の高い発表ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	コミュニケーション形態を様々な角度から捉える目を養う。 独自に考えを纏め、発表・発信する。						
授業の進め方・方法	中間試験は50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。 定期試験60%、授業メモ・レポート・発表等40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけにすぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることが心がけること。課題などの資料を読み、毎回コメントを準備して授業に臨むこと。指定する方法で学習状況を記録し、試験準備等に役立てること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	教えと学び1		一期一会、「学び」を多角的に理解する		
		2週	教えと学び2		マスメディアと歴史問題		
		3週	教えと学び3		効率的に学ぶことの功罪		
		4週	教えと学び4		SD4		
		5週	人と科学技術1		2045年問題、ナノテクノロジー ロボット工学、遺伝子工学		
		6週	人と科学技術2		科学技術と市場経済の関連性		
		7週	人と科学技術3		SD4		
		8週	レジュメの作成、発表		個人発表（5分）、相互評価		
	2ndQ	9週	レジュメの作成、発表		個人発表（5分）、相互評価		
		10週	レジュメの作成、発表		個人発表（5分）、相互評価		
		11週	差別について1		水平社人権宣言、エリートの概念 アイデンティティとエスニシティ		
		12週	差別について2		沖縄問題、アイヌ問題、原発問題		
		13週	差別について3		アメリカの不法移民問題		
		14週	差別について4		日本への留学生・就学生問題		
		15週	前期学習したことの総括		前期期末試験解答用紙の返却と解説		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題・発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0